

マインドマップの自動生成による発想支援

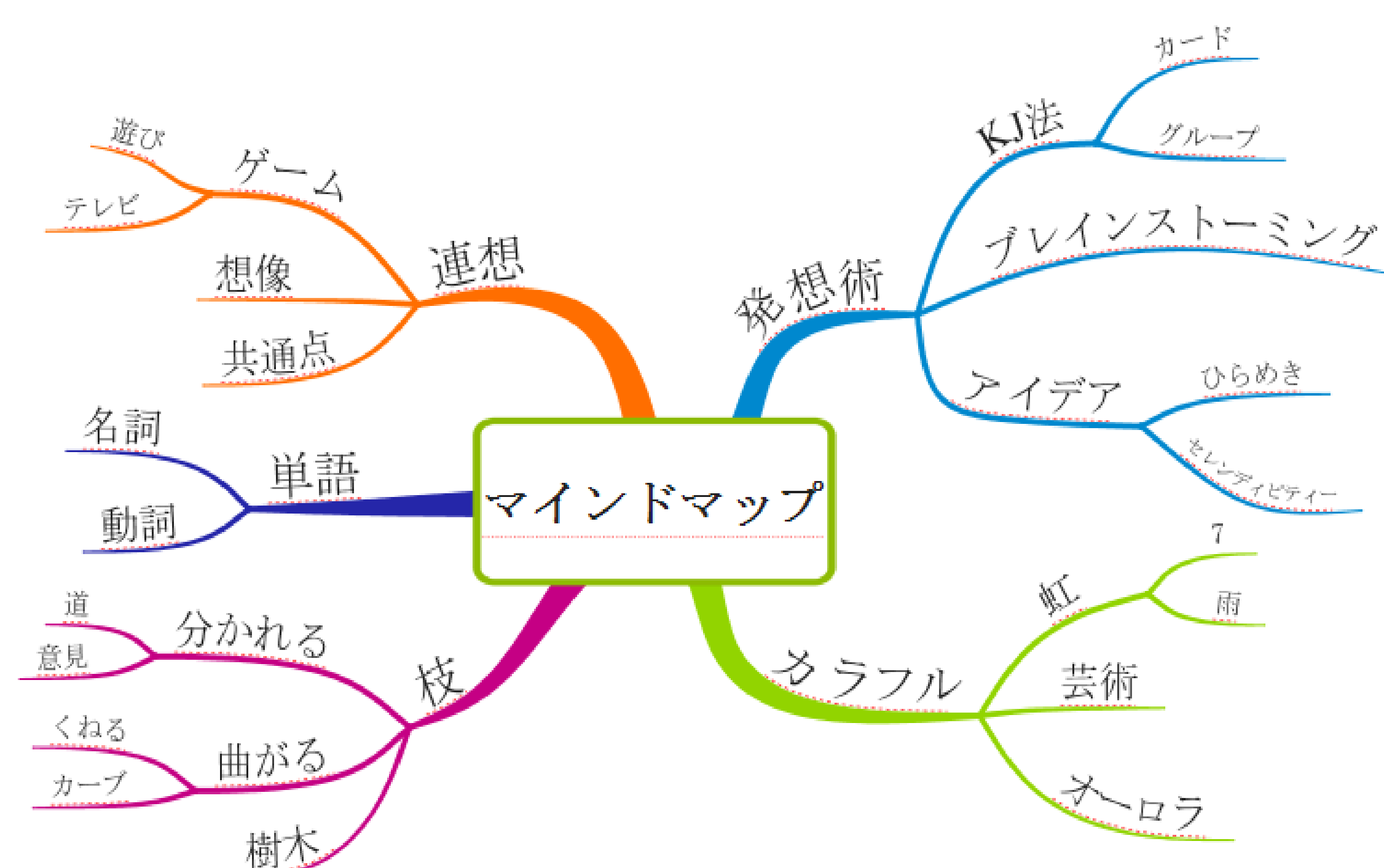
情報・通信工学科 コンピュータサイエンスコース 寺田研究室
1211139 布川大地

概要

- 人間のアイデアの思考や発想を補助するために「マインドマップ」が使われることがある。
- マインドマップを短時間で自動的に作成し、有効活用できるようなソフトウェアを作成することが目的である。

マインドマップ

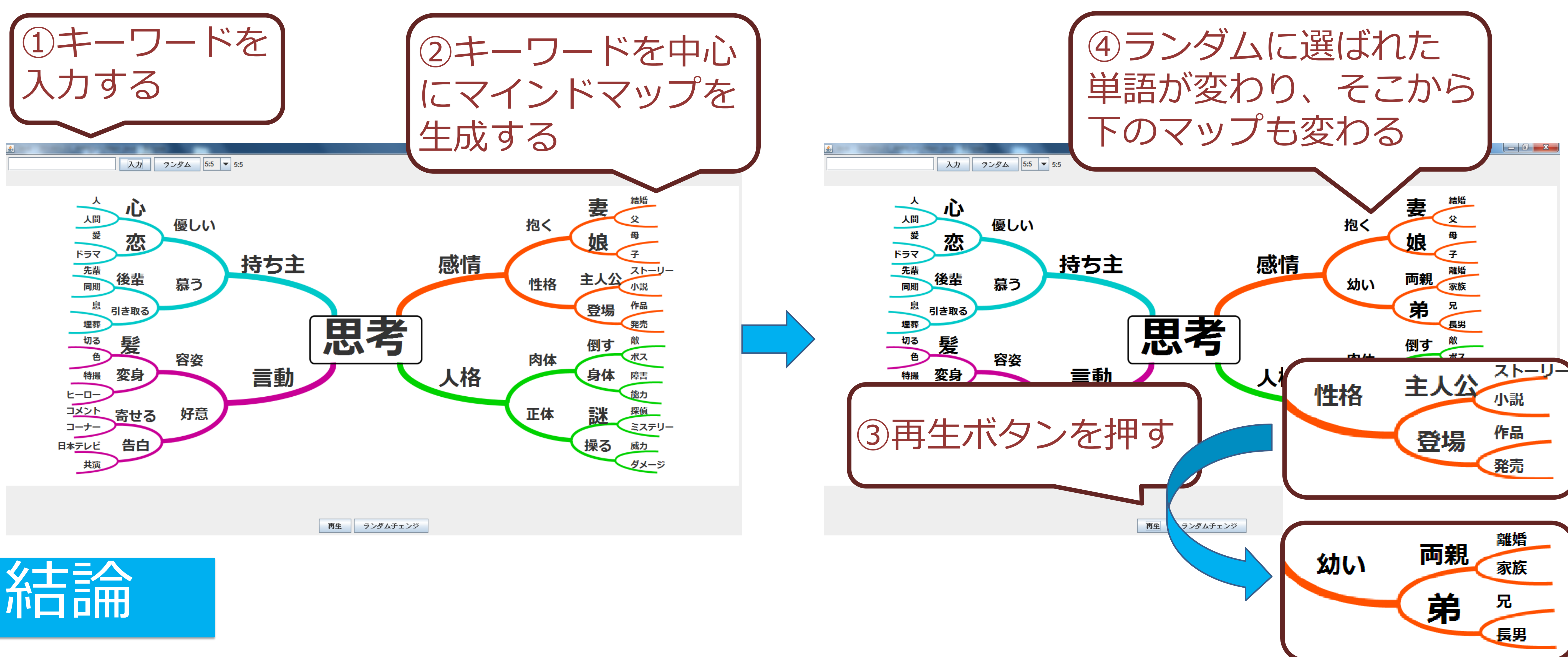
- 発想術として知られるツールの1つ。
- 中心にテーマとなる語を置き、そこから連想される語を放射状に書く。連想された語からも同じように書き、単語をツリー状に配置したもの。



<マインドマップの例>

提案システム

- 1 単語を入力するとその単語を中心にマインドマップを生成する。
- 一定時間ごとにマインドマップの一部をランダムに選び変更して半永久的に1つのテーマに対する連想を続ける。



結論

- 提案システムの使用ありとなしで考案されたアイデアの個数を比較した結果、有意差は見られなかった。
- 被験者の主観ではあるが、システムの使用により意外性のあるアイデアが考案できたという結果が得られた。
- 本来のマインドマップにより近いマインドマップを表現する、言葉の連想の方法を変えるなどの改善により、アイデアの量や質の向上が見られる可能性がある。